

家族や都市に生きる孤独を  
テーマとする作家

**松井 計**

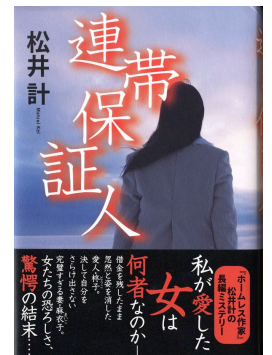
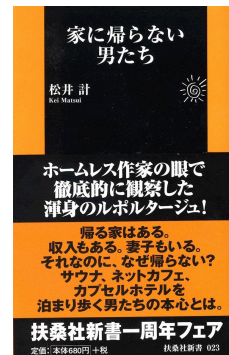
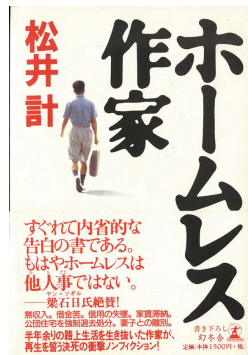
Matsui Kei

- ◆ベストセラー『ホームレス作家』の著者
- ◆ルポルタージュ『家に帰らない男たち』が反響を呼ぶ
- ◆家族問題や事件のコメンテーターとしてテレビ出演多数
- ◆社団法人 日本文藝協会会員



【“私ドキュメント”からミステリーまで、  
多彩な手法で人間をえがく】

松井さんは、『ホームレス作家』『ホームレス失格』『家族奪回』と自らの経験に基づく“私ドキュメンタリー”というジャンルの私小説の第一人者として知られていますが、最近では、ルポルタージュ、長編ミステリー、時代小説等の執筆も多く、多彩な手法を駆使して、人間をえがき続けています。



ベストセラー私小説 ルポルタージュ 長編ミステリー

【コメンテーターとして幅広い世代に支持】

松井さんは、報道番組のコメンテーター、トーク番組のスタジオゲストとして、家族問題や事件について意見を求められることが多いですが、その深い洞察力とヒューマンな発言が幅広い世代に共感を生んでいます。特に、NHK教育テレビ「真剣10代のしゃべり場」では準レギュラー的に出演し、若者の熱い支持を得ました。

●主な出演番組

- 【コメンテーター・ゲストとして出演】  
NHK教育テレビ「真剣10代のしゃべり場」  
日テレ「爆笑問題のスズメ」 テレ朝「報道ステーション」  
フジテレビ「鶴瓶の平成日本のよふけ」 TBS「R30」
- 【特集コーナーへの協力・出演】  
フジテレビ「スーパーニュース」や  
テレ朝「スーパーJチャンネル」特集コーナーにて  
“家に帰らない夫達”シリーズ化
- 【家族問題の専門家として】  
CS朝日ニュースター「ニュースの真相」  
「ポリティカルプラネット」など

他多数

1958年、愛媛県生まれ。大学卒業後、英語講師、古書店店主などを経て、作家活動に入る。松井永人のペンネームで「血戦！帝国艦隊進撃ス-零戦隊激闘記」などの戦争シミュレーション小説や時代小説を多数発表。2001年、住宅トラブルに借金、妻の病気、単行本の出版中止などが一気に重なり、身重の妻と二歳になる娘を福祉施設に預け、ホームレス生活に入る。そんな過酷な日々を赤裸々に書いた私小説『ホームレス作家』（幻冬舎）が反響を呼び、テレビ出演が多くなる。また、この本から本名の松井計の名前で活動、現在に至る。著書に、『ホームレス失格』（幻冬舎）、『「生きる」ってなんだろうー⑥ホームレスだったぼくから、きみたちへ』（実業之日本社）、『家族奪回-離れて暮らす娘との春夏秋冬』（情報センター出版局）、『家に帰らない男たち』（扶桑社）、『連帯保証人』（双葉社）、他。趣味は野球、酒、猫、散歩。2児の父親で、専業主夫の経験もある。

【ぜひ取材をご検討ください】

- ・家族問題や事件に関するテレビやラジオのコメンテーター、講演
- ・格差社会やホームレス問題に関するテレビやラジオのコメンテーター、講演 etc.

取材のお問い合わせは、ホワイトナイト（株）久保まで TEL：03-5414-2831